

4年間の学びのステップ LEARNING STEPS OF 4 YEARS

▶ カリキュラム ○:神学コース必修 ○:キリスト教人文コース必修 ●:キリスト教人文コース選択必修

1年次	2年次	3年次	4年次
基礎	応用	発展	
<p>キリスト教信仰の普遍性を学び、基礎的な神学的教養を身に付ける。</p> <p>キリスト教とその歴史および聖書についての概論的科目を通して、キリスト教精神に基づく幅広い教養を身に付けることができます。また神学を学ぶ上で不可欠なツールである古典語学に習熟することも可能です。</p> <p>専門基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キリスト教神学への招待A・B ●旧約概論A・B ●キリスト教史概論A・B <p>古典語学・外書</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ヘブライ語I ●ヘブライ語II ●教会ラテン語A・B <p>実践神学</p> <p>説教学A・B</p> 	<p>神学各分野の学びを通して、人間と世界を正しく理解する。</p> <p>信仰の歴史的・神学的問題を多面的に学び、キリスト教精神を究明するために神学的に思考し、批判的に判断できるようになります。また人文学諸学の思考・判断・表現を学び、豊かな国際感覚を養います。</p> <p>専門基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新約概論A・B ●組織神学概論A・B ●実践神学概論A・B <p>古典語学・外書</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ギリシア語I ●ギリシア語II ●外書講読A～D <p>聖書学</p> <p>旧約釈義A～D 旧約時代史 新約釈義A～D 新約時代史</p> <p>歴史神学</p> <p>教会史A・B 日本キリスト教史A・B 世界宣教史</p> <p>組織神学</p> <p>教義学A～D</p> <p>実践神学</p> <p>キリスト教教育学A・B</p> <p>キリスト教人文</p> <p>オリエント学A・B 西洋古典学A・B 日本キリスト教文学A・B キリスト教美術A・B 教会音楽研究A・B</p>	<p>神学研究の方法に精通し、主体的自覚的な課題を抽出し、発信できるようになる。</p> <p>主体的自覚的に課題を抽出し、コミュニケーションとプレゼンテーションをすることができるようになります。日本・世界の精神文化の形成、倫理・道徳の向上、平和と福祉の促進に貢献する実践的な倫理性を養います。</p> <p>聖書学</p> <p>旧約神学A・B 聖書外典A・B 新約神学A～D 旧約原典A・B 新約原典A・B</p> <p>歴史神学</p> <p>教理史A～D ○バプテスト史A・B</p> <p>組織神学</p> <p>キリスト教倫理学A・B 現代社会とキリスト教 現代神学A・B フェミニスト神学</p> <p>実践神学</p> <p>教会教育A・B 礼拝学A・B 牧会学A・B 宣教学A・B 教会音楽A・B 実践神学A・B キリスト教社会福祉論</p> <p>キリスト教人文</p> <p>○総合人間学A・B キリスト教音楽A・B 教会音楽研究C・D</p> <p>特殊</p> <p>特殊講義 ●演習A～D ○卒業論文</p>	

※上記カリキュラムは2023年度入学者より適用予定。

教員紹介

金丸 英子 教授	バプテスト史(教会史を含む)
才藤 千津子 教授	実践神学(バプテストケア・カウンセリング)
須藤 伊知郎 教授	新約聖書学(マタイ福音書の研究)
G.W. パークレー 教授	キリスト教史(古代教父の研究)
濱野 道雄 教授	組織神学(キリスト教倫理学)、実践神学
日原 広志 准教授	旧約聖書学(預言者の研究)
黄 南徳 教授	組織神学、キリスト教倫理学
ヒラルド ロドリゲス 准教授	宗教社会学

主なゼミテーマ

- ヴィクトール・フランクルと生きる意味の探究
- 使徒信条を読む:教会の神学を知ろう
- ヨブ記を読む
- 原子力とキリスト教
- 宗教とグローバリゼーション

▶ 学科 PICK UP (ゼミの学び)

金丸 英子教授

ゼミテーマ 使徒信条

キリスト教信仰は聖書に基づきますが、その信仰の内実の宣言が使徒信条です。教会は長い間、信仰の正統性を判断する時に使徒信条を用いてきました。神学は使徒信条を基盤に据えて組み立てられました。そういう意味では、使徒信条を学ぶことは、神学の学びを豊かに、深くするはずですが、時々、学生の皆さんから刺激的な発言や難しい質問が出されますが、それを楽しむ講義でもあります。



「ZOOM IN カリキュラム」

新約神学

新約聖書には、紀元後1世紀半ばから100年ほどの間に書かれた27の文書が集められています。4つの福音書、使徒言行録、教会宛て、個人宛ての手紙など、それぞれが固有の歴史的、社会的状況の中で著されたものです。その一つ一つの文書の神学を探究してゆくと、新約聖書が全体として何を語っているかが見えてきます。

フェミニスト神学

「聖書は古代の書物だから家父長制的」でしょうか?しかし聖書は、それに抗い、乗り越えていった人々の記録も遺しています。長らく男性の視点で読まれてきた聖書を、女性の視点で読み直し、教会と神学のあり方を根本から問い直す新しい神学のパラダイム「フェミニスト神学」を専任教員によるオムニバスで多角的に学びます。

STUDENT'S VOICE

一つの視点に捉われず
聖書を読み解く。

キリスト教教会の牧師を目指して本学科に入学。「聖書学」の講義では、これまで行われてきた聖書の多様な解釈方法について学びました。特に面白いと感じた聖書の読み方は、誰が誰に向け、何を伝えるための言葉かを考える読み方です。伝える人と聞く人の想定が変わると、同じ言葉でも意味合いが変わります。この解釈は正しいのか、問い続けることで一度見落としてしまった事柄に気が付くことも。今後も将来の目標に向けて、聖書への問いと探究を続けていきます。

神学部神学科神学コース 4年 (2021年12月時点)

原田 仰

(福岡県・福岡講倫館高等学校出身)

私が思う
神学の面白さ
正解が本当に
正しいのか、
疑うことで新しい道が拓く

